

## 【取組内容①】 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を目指すために、ICT活用を明確に位置づけた授業づくり

## 6年生算数科の実践より

実際に指導案を作成する際には、以下のように授業づくりの視点に対する具体的な記述を行った。本時は共同編集可能な学習支援ソフトを活用した。

※形成的評価については「・」、総括的評価を行うための資料として記録に残す評価については「○」を付けている。

## 5 展開

- (1) 本時目標 数量の関係が分数倍（割合）で表された場面で、分数倍（割合）や比較量を求めることができる。
- (2) 準備物 掲示用資料、配布用資料、テレビ、chromebook（教員用・児童用）
- (3) 授業づくりの視点について

教科の見方・考え方

→小数倍（割合）の考え方に着目し、乗数が分数の場合でも割合の考え方が適用されることを理解できるようにする。（乗法の意味の拡張）

ICTの効果的な活用

→考え方や課題解決に向けてわからない点について、共有するツールとして活用する。

個別最適な学び、協働的な学び

→②の ICT の活用を通して、必要に応じて情報を得たり、発信したりすることができるようにする。

## 【現時点における成果】

クラウド環境上の学習支援ソフトを活用することで、全体で解決の時間をとらなくても、必要な時に必要な情報を共有することができた。

また、解決に向けての必要な情報（立式や大切な考え方等）が記録として残るので、いつでも紹介したり、参照したりすることができた。



課題解決に向けて、クラウド上に自分の情報を発信する様子。

直接やりとりした方が良いことについては自由に友達のところに行き一緒に解決しようとする姿が見られた。